

当院にて研究「デンタルインプラント周囲顎骨の骨質解析」 にご協力いただいているご遺族の方へ

当院では研究「デンタルインプラント周囲顎骨の骨質解析」に参加しております。この研究は、デンタルインプラント周囲骨のBAP結晶の配向性およびコラーゲン線維の走行について検索し、インプラント周囲顎骨における力学環境の一端を解明することを目的としています。この研究はご遺体から得られた試料を用いてこれまで東京歯科大学で行われていましたが、新たに東京大学医学部附属病院でも解析の一部を実施します。

【研究課題】

デンタルインプラント周囲顎骨の骨質解析

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学軟骨・骨再生医療寄付講座、東京大学口腔顎顔面外科・矯正歯科

研究責任者 疋田 温彦 東京大学 軟骨・骨再生医療寄付講座 特任准教授

担当業務 試料の観察・解析

【共同研究機関（主任研究施設）】

研究機関 東京歯科大学（解剖学講座、口腔インプラント学講座、口腔科学研究センター、パーシャルデンチャー補綴学講座）

研究責任者 松永智 東京歯科大学解剖学講座 准教授

担当業務 ご遺族への説明、同意取得、試料の匿名化（済）、試料の観察・解析

【研究期間】

2021年3月31日まで

【対象となる方】

1974年11月13日から2013年2月13日までに東京歯科大学で献体を行われた方

【研究の意義】

骨粗しょう症では骨強度が低下しており、歯科領域ではインプラントの埋入の際に問題となることがあります。近年、骨強度の指標として、新たに骨質が加えられ、中でも骨のおもな成分であるコラーゲン線維と生体アパタイト（リン酸カルシウムでできた骨や歯の成分、以下 BAp）結晶の配向性（方向性）に高い関心が集まっています。しかし、ヒト顎骨に埋入されたデンタルインプラントの周囲骨の骨質に対する報告はほとんどなく、不明な点が多く残されています。これを明らかにすることで、デンタルインプラント治療が可能であるかどうかの判定をより正確に行うことのできる方法の開発や、より骨への負担の少ないインプラントの開発に必要な知識を得ることが可能になるかもしれません。

【研究の目的】

この研究の目的は、デンタルインプラント周囲骨の BAp 結晶の配向性およびコラーゲン線維の走行について検索し、有歯・無歯顎骨との比較検討を行うことで、インプラント周囲顎骨における力学環境の一端を解明することを目的とします。

【研究の方法】

この研究は、東京歯科大学倫理委員会および東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京歯科大学学長および東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。既に頂いた献体からの試料を用いて行う研究です。特にご遺族に新たにご負担いただくことはありません。また、試料は、東京大学医学部附属病院に輸送され解析されますが、送付前に既に氏名・住所・生年月日等の個人情報情報が削られ、どなたのものか分からないようにしたものが輸送されます。また、解析後は速やかに東京歯科大学に戻されます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。ご遺体には通し番号の記されたチップが付与されているのみであり、ご遺体情報については、年齢と性別および口腔状態以外の情報は隠されます。また、学会発表および学術論文においても年齢と性別および口腔状態のみが記載されます。

研究データはすべて暗号処理されてハードディスクに保存され、鍵のかかる固定された金庫に厳重に保管されます。ハードディスクを破棄する際には物理的に破壊し、データ流出の可能性を極小に抑えます。

ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をご遺族にお知らせすることもできます。

また、試料は、東京大学医学部附属病院に輸送され解析されますが、送付前に既に氏名・住所・生年月日等の個人情報情報が削られ、どなたのものか分からないようにしたものが輸送されます。また、解析後は速やかに東京歯科大学に戻されます。得られたデータは、施錠された東京大学医学部附属病院第一研究棟 3 階口腔外科研究室において疋田温彦が、パスワードロックをかけたハードディスクで厳重に保管します。また、同一のデータが東京歯科大学で保管され、東京歯科大学で得られたデータと同様の方法で保存されます。

★この研究のためにデータを使用してほしくない場合は下記の研究事務局まで 2017 年 12 月 31 日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、日本学術振興会の科学研究費助成事業および日本医療研究開発機構 (AMED) の未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業から支出されています。本研究の東大側の研究者である疋田温彦は、富士ソフト株式会社の寄付による講座 (軟骨・骨再生医療寄付講座、2017年11月1日よりセル&ティッシュエンジニアリング寄付講座に改称予定) に属していますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー一機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

尚、あなたへの謝金はございません。

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院・ティッシュエンジニアリング部特任准教授 疋田温彦

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5800-9891（内線37386） FAX：03-5800-9891

Eメールでのお問い合わせ：ahikita-tky@umin.ac.jp